

第一回ブループラネット賞
「地球環境問題と人類の存続に関する
アンケート調査」

THE BLUE PLANET PRIZE
RESULTS OF THE QUESTIONNAIRE ON ENVIRONMENTAL
PROBLEMS AND THE SURVIVAL OF HUMANKIND

af 旭硝子財団
THE ASAHI GLASS FOUNDATION

- 調査時期：1992年6月29日（月）から国内／海外に郵送
同年8月17日（月）までに郵便返却およびFAXにより回収
- 送付数：3724（国内：2547 海外：1177）
- 回収数：1054（国内：877 海外：177）
- 回収率：28.3%（国内：34.4% 海外：15.0%）
- 調査対象：
 - ・大学、研究所の研究者
 - ・政府、自治体の公務員
 - ・自然保護団体、NGOの職員
 - ・国際機関の職員
 - ・ジャーナリスト、出版人
 - ・会社員、役員
 - ・その他（財団職員、国会議員等）

● Questionnaires sent out from June 29,1992. Replies collected
by mail and fax by August 17,1992

● Number of the questionnaires sent : 3724
(Domestic : 2547, Overseas: 1177)

● Number of replies collected : 1054
(Domestic : 877, Overseas: 177)

● Rate of replies : 28.3% (Domestic : 34.4%, Overseas: 15.0%)

● Targets : Member of
University or Research Institute
National or Local Government
Natural Preservation Society or NGO
International Organization
Media
Corporation
Others

● 属性別の回収結果 / Respondant Data

Region 地域

日本	Japan	877
北アメリカ	North America	49
ラテンアメリカ	Latin America	11
西ヨーロッパ	Western Europe	39
CIS/ 東ヨーロッパ	CIS / East Europe	13
アジア	Asia	30
オセアニア	Oceania	9
中東/アフリカ	Middle East / Africa	9
無回答	NA	17
合計	Total	1054

Age 年齢

40才以下	Under 40	91
41~50	41 to 50	218
51~60	51 to 60	354
61才以上	Above 61	367
無回答	NA	24
合計	Total	1054

Sexuality 性別

男	Male	995
女	Female	44
無回答	NA	15
合計	Total	1054

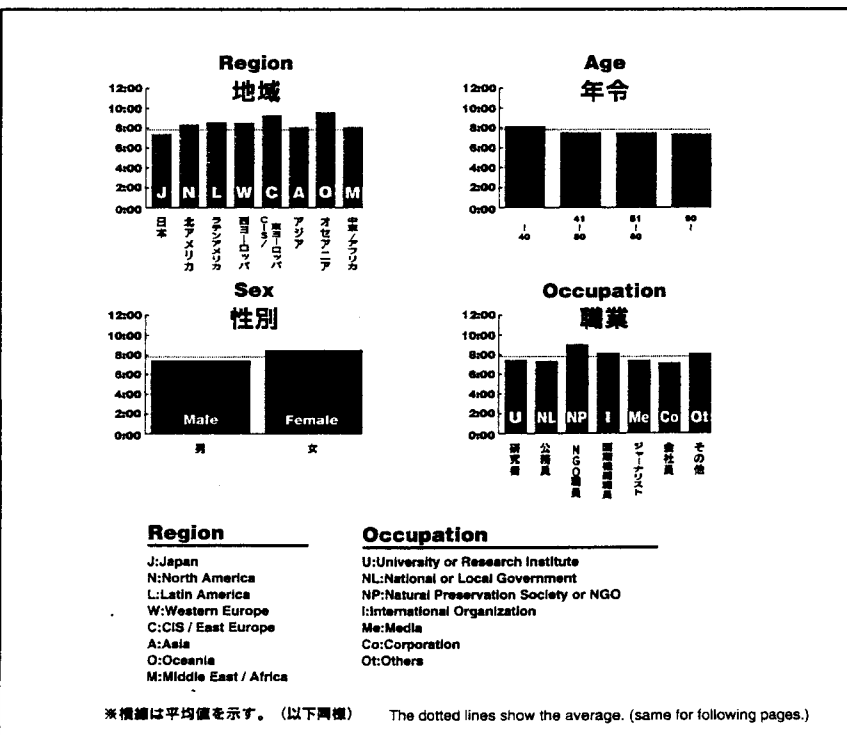
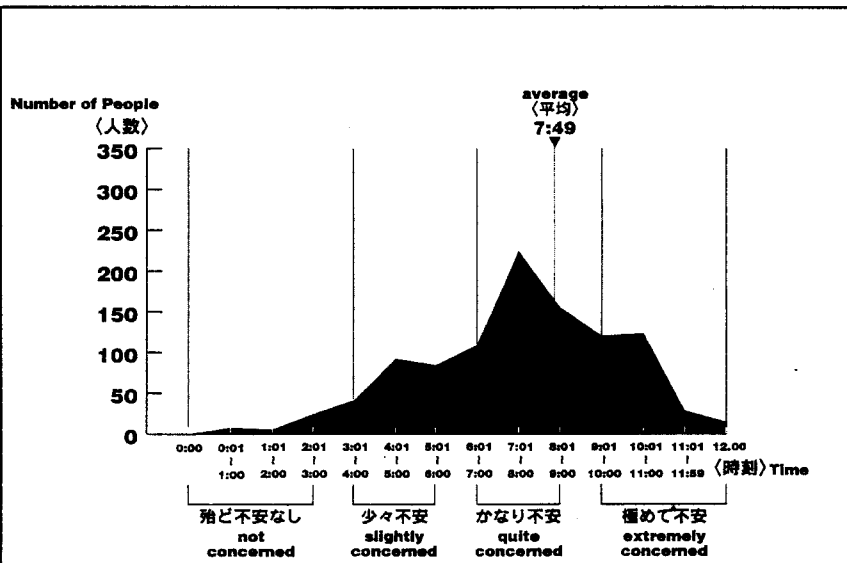
Occupation : Member of 職業

研究者	University or Research Institute	541
公務員	National or Local Government	116
NGO職員	Natural Preservation Society or NGO	41
国際機関職員	International Organization	30
ジャーナリスト	Media	26
会社員	Corporation	166
その他	Others	110
無回答	NA	24
合計	Total	1054

1

人類の存続は地球の変化によって危機に瀕しているといわれていますが、あなたは現在の危機の程度をどのように感じていますか。時計の針に例えてみてください。

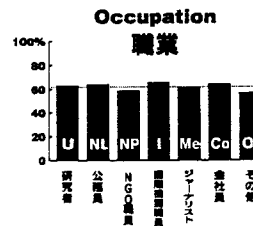
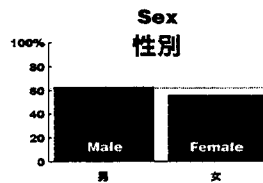
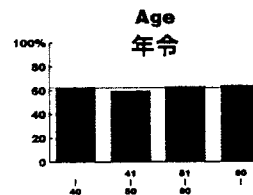
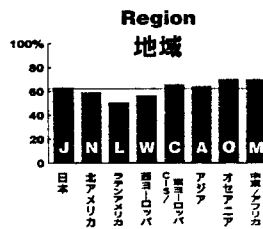
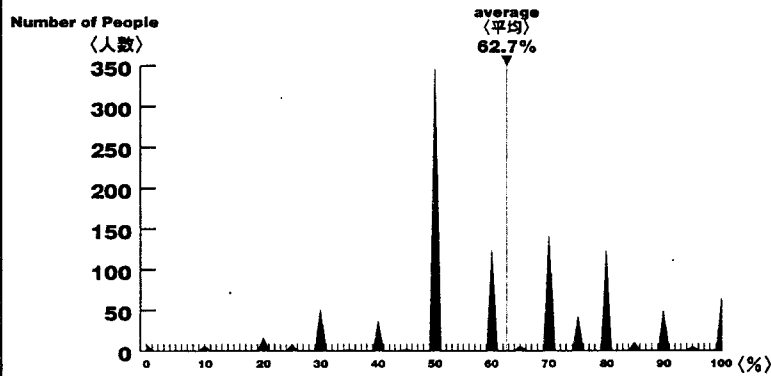
It has been said that the survival of humankind is on the brink because of environmental changes. At this point in time, to what degree do you think the danger has progressed. Please think in terms of a clock.



2

地球環境問題の解決に、科学・技術は寄与できると思われますか。

How far are science and technology able to contribute to the solution of environmental problems?



Region

J:Japan
N:North America
L:Latin America
W:Western Europe
C:CIS / East Europe
A:Asia
O:Oceania
M:Middle East / Africa

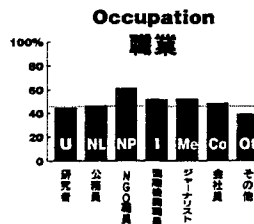
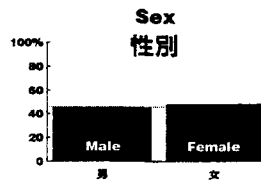
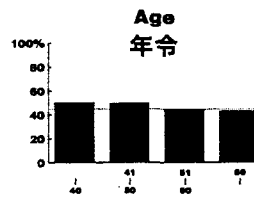
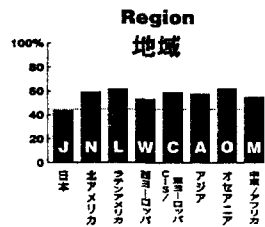
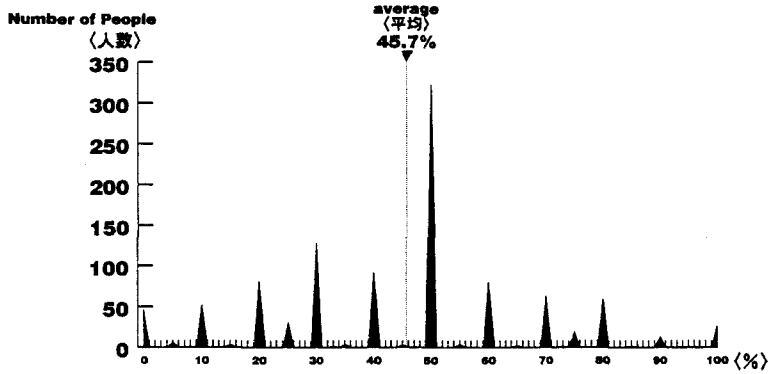
Occupation

U:University or Research Institute
NL:National or Local Government
NP:Natural Preservation Society or NGO
I:International Organization
Me:Media
Co:Corporation
Ot:Others

3

市場経済システムの改善や政治的な規制策によって、世界の消費と生産の拡大傾向やそれを追い求める人々の欲望を抑制できると思われますか。

To what extent can changes to economic systems and political regulations restrain increases in production and consumption and curb the desire of human beings to pursue them?



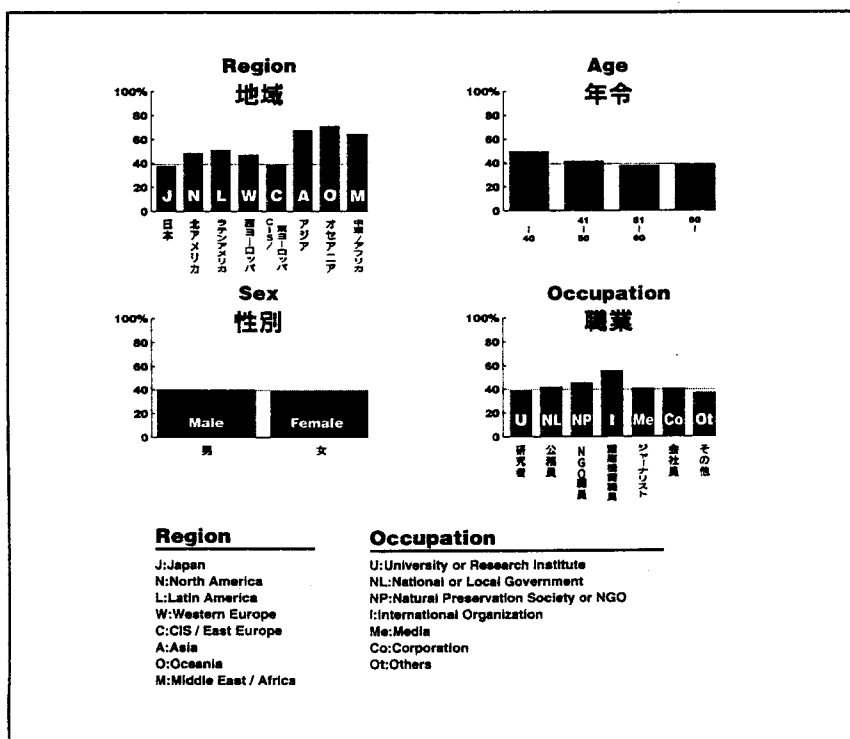
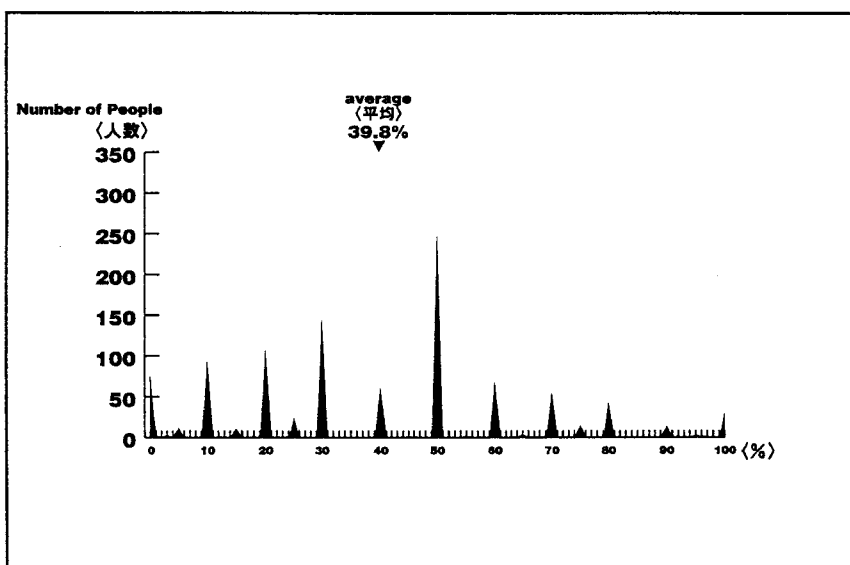
Region
 J: Japan
 N: North America
 L: Latin America
 W: Western Europe
 C: CIS / East Europe
 A: Asia
 O: Oceania
 M: Middle East / Africa

Occupation
 U: University or Research Institute
 NL: National or Local Government
 NP: Natural Preservation Society or NGO
 I: International Organization
 Me: Media
 Co: Corporation
 Ot: Others

4

ヒューマニズム（人類愛）に基づく行動が、
環境破壊によって危機に瀕している
人類を救えると思われますか。

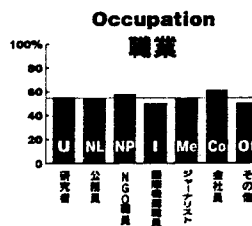
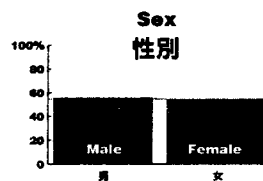
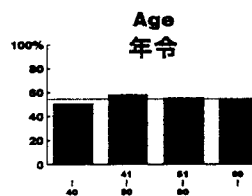
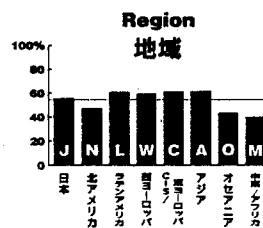
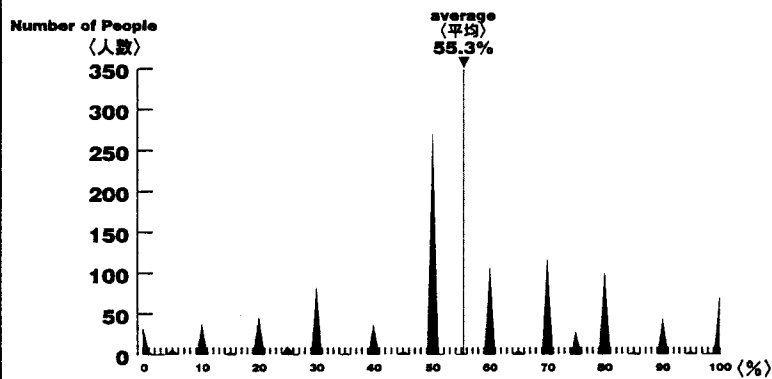
To what extent are humanistic activities able to save human
beings from the current crises that are caused
by destruction of the environment?



5

科学・技術に依存した現代文明の欠陥を補い、
環境と共生できる新たな文明のかたちを、
人類は創造できると思われませんか。

Is it possible to compensate for the problems of the present
civilization in which certain science and technology exists to
create a new civilization in which people develop and live
in harmony with the natural environment?



Region

J: Japan
N: North America
L: Latin America
W: Western Europe
C: CIS / East Europe
A: Asia
O: Oceania
M: Middle East / Africa

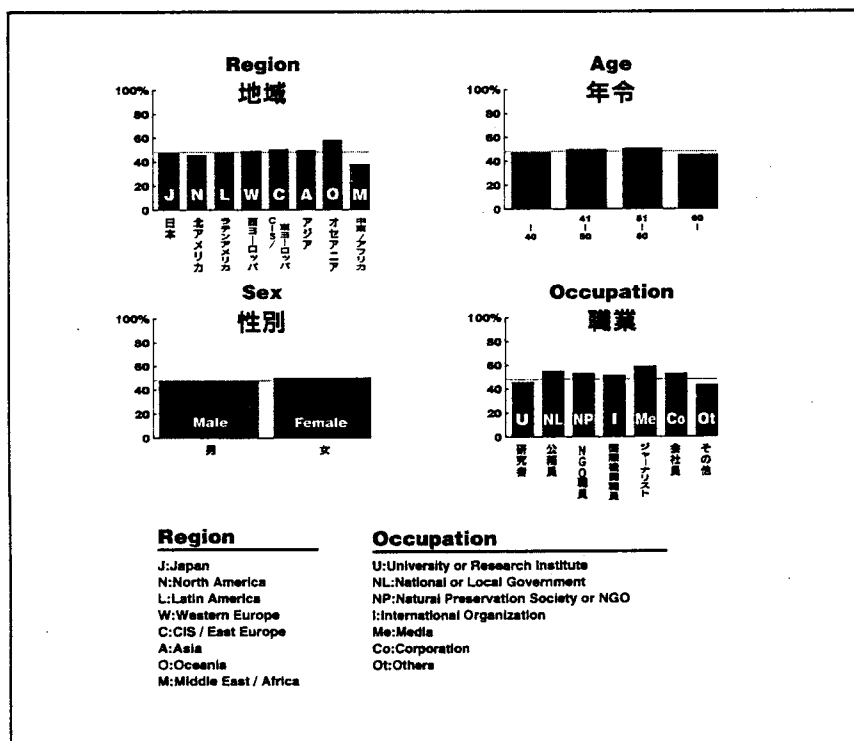
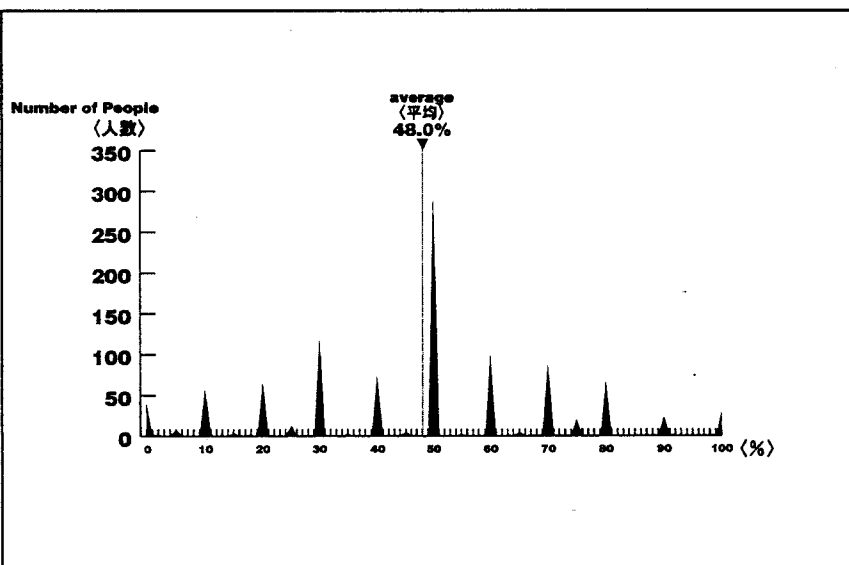
Occupation

U: University or Research Institute
NL: National or Local Government
NP: Natural Preservation Society or NGO
I: International Organization
Me: Media
Co: Corporation
Ot: Others

6

地球環境を守るために、先進国の人々は、
物質的な豊かさを抑えたライフスタイルに
移行することができると思われますか。

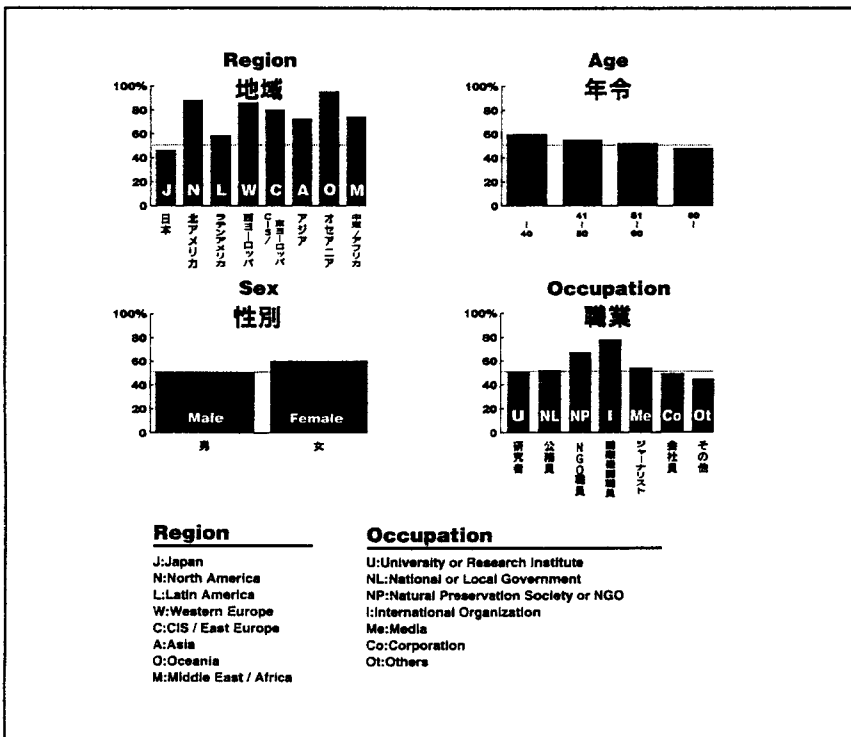
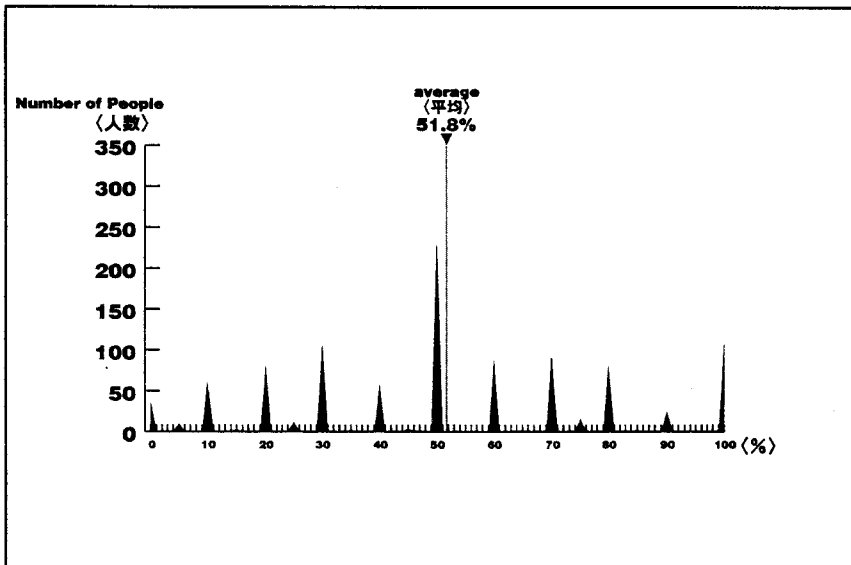
**Do you believe that people in developed nations can change
their fundamental desire for a rich material life to save the Earth?**



7

先進国は、途上国の経済発展のあり方や人口の抑制に関与することはできると思われますか。

Do you think that industrially advanced countries should concern themselves with the population problems and economic growth policies of developing countries?



8

問8の自由記述に書かれた、テーマや課題を
頻度の高かった順に並べると、次のようになります。
詳細は、お手元の資料集をご覧ください。

The following slide shows the order of themes
most frequently written in the comment column of Q8.

1. 人類存続の重要課題としての人口問題の解決
2. 教育・環境教育の重要性
3. 東洋思想・文明（西洋近代主義の反省）の重要性
4. 進化・遺伝子の必然としての人類の滅亡
5. 資本主義・市場経済システムへの疑問
6. 平和の重要性（核・戦争への不安）
7. 環境ファシズム（警察国家・管理社会への不安）

1. solving the population problem to ensure the survival of humankind.
2. education, including that concerning the environment.
3. the importance of Eastern philosophy and culture, in contrast to Western modernism.
4. the inevitable annihilation of humankind in line with evolution and genetic makeup.
5. doubts over capitalism and market economies.
6. the importance of peace, and anxiety toward nuclear weapons and war.
7. environmental facism, and fear of a police state and controlled societies.

《地球環境問題と人類の存続に関する調査》の自由記述の要約

□以下の記述は、問2から問8までについて、ご回答者が自由にご意見を表明していただいたものの抜粋です。スペースの関係上その一部しか掲載できませんが、ご回答して下さった方々のご意見は今後の参考とさせていただきたいと存じます。

□お断わりするまでもなく、回答の内容は賛成から反対、肯定から否定、共感から反感までと、非常にヴァリエティに富んでおります。掲載の目安としては、比較的ドミナントなご意見を多く載せていますが、ユニークな、あるいは中には極端と思われるかもしれないご主張も含んでおります。構成としては同主旨のご意見をまとめて布置し、各人の意見の違いを追いながらストーリーとしてご理解いただけるようにしました。

□自由記述からの引用は無記名とさせていただきました。ご回答者の使用された字句・表現は一切変更しておりませんが、文意が汲みにくいと思われた箇所は〈 〉の印を付し、中途省略したものは...で示しました。問2～問7のほとんどは全文掲載しましたが、問8は抜粋がほとんどです。

□問8の自由意見欄に関しては、回答中に頻出したテーマで、頻度の高かった順に1位から12位までをあげています。ただし、問2～問7の質問内容を総合した意見と行動の重要性を表明された回答はここでは取り上げておりません。人数としては、1の意見をあげた人は90人以上、2の主張は40人以上、3と4は20人以上、5～7は10人以上、8～12は10人以下となっています。

□自由記述欄に意見を寄せられた人数

問2	616人
問3	539
問4	516
問5	546
問6	514
問7	516
問8	435
全回答者	1054

問2 『地球環境問題の解決に、科学・技術は寄与できると思われませんか』

●意見記述者：616人

- ・科学・技術の進歩は測り知れない。
- ・完全はありえないが、大部分は可能。
- ・逆説的かもしれないが、解決には科学・技術によるしかない。
- ・科学技術が地球環境問題の解決に寄与しうるような経済的、社会的、制度的諸条件をどのようにして作り出すかに依存する。
- ・この問題の解決に科学・技術は方法論を与えるだけである。根本的には人間が文化・発展をどのようにとらえているかに依る。
- ・現実に寄与してきたことは間違いないし今後も可能。しかし、時間的には不安が残る。
- ・科学が神に代わると言う人もあるが、科学すればますます未知の分野は広がる。
- ・自然現象（噴火、地震など）に対し、人類は未だ無力。
- ・価値観の転換が伴わねば不可能と思います。
- ・一時的に何か解決されたとしても、その科学・技術を発達させるためにそれ以上の環境破壊を引き起こしている。
- ・人口の増加＝人類の繁栄である以上、人口増と貧困に起因するものは、科学・技術の対象外。
- ・The major problem is population growth, but limitation of population depends on ethical, moral and economic factors.
- ・産業革命以来の近代科学・技術文明は大変なものです。しかし、それが地球略奪の上に成りたった文明であることも否定できない。されば発想の大転換なしには科学・技術も寄与できない。
- ・現在科学ではかなり難しい。核融合など次世代技術の実現が必要。
- ・現在の技術主導型では不可能で、科学（哲学）主導型に意識改革の要あり。
- ・To my regret, science cannot limit our needs.
- ・科学が人間の欲望の問題に適切な対応ができるか疑問。
- ・The appropriate science and technology have not been applied because of pressure from business interests.
- ・費用－効果比が最後に問題になろう。
- ・最終的には経済問題です。
- ・Science needs public participation with a framework of law.
- ・文明論的危機であるので、政治・経済・科学は連動しなければ不可。
- ・Many issues are political and social not science.
- ・科学人、技術人には独立性はなく完全に政治に付随しているので、“解決”に対して何とも答えられない。
- ・太陽、地球を含めての地球システムの解明が第一で、それなしに政治的にばかり焦るのはよくない。
- ・自然と人間性の重視を最優先にすることが条件。
- ・Most of the situation lies in man's heart(fear, greed).
- ・人智の及ばぬところも多少はあろう。

問3 『市場経済システムの改善や政治的な規制策によって、世界の消費と生産の拡大傾向やそれを追い求める人々の欲望を抑制できると思われませんか』

●意見記述者：539人

- ・ 人類の英知を信じている。
- ・ Mankind can do most that mankind needs to.
- ・ 欲望のままでは人類ではない。諸施策で対処出来よう。
- ・ History lies much to teach on this!
- ・ 地域主義、民主主義的な発想をどれだけ克服出来るかが鍵になるろう。
- ・ 価値観の変化を促す教育面の長期的努力が第一で、システムや規制では無理。
- ・ 麻薬にしても煙草にしても有害とハッキリしているからこそ止めるという気持ちが出てくる。酒くらいのあいまいさだと欲望を抑制して飲まずにすませようとは誰も思わない。
- ・ 禁欲のライフスタイルを普段の生活の中から築き上げることをしない限り不可能であろう。
- ・ You can't change human desire unless you force them to change it.
- ・ そのためにはもっと人間にとって基本的な宗教、道徳、哲学といったレベルの発展が必要で、経済政治は所詮「効率」と「力」の原理の上に成り立っているので無力であろう。
- ・ 人類も生物界の一員で、自然の法則、盛者必滅の法則に従うことである。
- ・ 人間の欲望と生存は一致する。
- ・ 欲望の遺伝子の発現を抑えない限り期待薄。
- ・ "欲望"ではなく文化的生活を追い求める自然の帰結ゆえ、不可能。
- ・ 資本主義自体が欲望を基盤としている。次なるシステムに未だ見通しが無い。
- ・ 資本主義という経済システムを選択し、物質的な豊かさを追い求めてきた人類が今になって考えを変えることは不可能と思われる。
- ・ 現在の経済システムはアンバランスの上に成立している。このアンバランスを解決することは経済の崩壊につながる。
- ・ 貧富の差を作られた途上国は抑制するよりも先進国がなくなれば良いと考えるだろう。
- ・ 人口の大半を占めるアジアについて楽観できない。
- ・ 人々の欲望を抑制する方向での政策等は無理。
- ・ Most people are greedy. Change must come from inside, not from political regulation alone. Still, we need some regulations.
- ・ 「地球が危ないから我慢しなさい」という説得は新しい人間社会の秩序をたてるには不十分である。
- ・ Persuasion is better than regulation.
- ・ ヒトの欲望は政治や市場経済システムで制御できない。むしろ宗教の方が効果があると思う。
- ・ ほとんどできない。独裁体制が出来れば別だけれど。
- ・ Humans need to change within themselves - totalitarian measures improved from above can only lead to social conflict.

問4 『ヒューマニズム（人類愛）に基づく行動が、環境破壊によって危機に瀕している人類を救えると思われませんか』

●意見記述者：516人

- ・人類愛に期待したい。
- ・If humans can't, who can?
- ・訴えるところはヒューマニズムしかない。
- ・If humankind does not change -- no one else is going to solve the environment.
- ・ヒューマニズムという思想が環境破壊をもたらしたのだと思います。
- ・人類愛だけではだめ。全生命体への愛が必要。
- ・ヒューマニズムだけでは不十分。地球－他生物－人間を同一レベルで愛する新しい倫理が必要。
- ・人間中心主義に走りやすく、地球環境と相容れぬ面もある。
- ・全地球主義と世代間倫理に徹すれば可能となろう。
- ・ヒューマニズムよりも「地球愛」とでもいうべきものが必要。幾多の生命と自然をのせた地球をグローバルに「大生命体」とみることが必要。いわゆるヒューマニズムは先進国人の身勝手に過ぎない。
- ・資源も環境も切迫してくればヒューマニズムより弱肉強食が優先してくる。
- ・誤解を恐れずに言うならば、生物学的に考えると、生物としての人類の将来を危うくしているのは、ヒューマニズムそのもの（進化学的にも遺伝学的にも）。
- ・国によっては、森林を破壊し、工業化で海を汚染しても、自国の発展を推進するのもヒューマニズムといえるのでは。
- ・Realistically -- not much evidence to data.
- ・環境問題を救うのは人類愛と思うが、人類愛より一段上の環境倫理というものを確立すべき。人類愛の中には、憐れみといった感じが見えるときがある。
- ・いまだに戦争をしている人類が、人類愛に目覚めることは難しい。
- ・ある人々にとっては、戦争も人類愛に基づく行動と考えられるので、ほとんど不可能。
- ・ヒューマニズムが人口問題解決のネックとなろう。
- ・Man is by nature selfish.
- ・ヒューマニズムは富と余裕の産物である。
- ・ヒューマニズムなど欲望と貧困のまえにはひとたまりもない。
- ・近代ヒューマニズムの根底にある人間中心主義は人類のエゴイズムである。
- ・よい意味でのエゴイズムが作用しないと困難。
- ・愛は時に激しいが、極めて脆い。
- ・Humanities and philosophy has been for a too long time unconcerned about the environment. Philosophy has always put man in the center of the universe.
- ・ヒューマニズムを人類愛と理解しない。「人間のつくりだした物を絶えず問いかえず努力」（渡辺一夫）と理解し、100%と思われる。

問5 『科学・技術に依存した現代文明の欠陥を補い、環境と共生できる新たな文明のかたちを、人類は創造できると思われませんか』

●意見記述者：546人

- ・人類は賢明である。
- ・未来の人間を信じる。
- ・文明というより文化の創造ならできらるう。
- ・No NEW civilization but a gradual shift to more environmental awareness and reduction of environmental destruction seems to be possible.
- ・人口問題を除外したモデルとしては可能。
- ・人類滅亡がガイアの意志なら、人類はその意志に逆らって生き残ろうとすべきか？ 環境と共生するためには、現在の人口は殖えすぎているのではないか。
- ・共存と発展の新しい文明は可能である。しかし、ほんの少数の狂人が多数の善意を破壊することがありうる。狂人の発生をおさえるべき。
- ・創造できないと思っているのならすぐに死ねばよい。
- ・宇宙（太陽系）文明の創造。
- ・日本には自然と共生の思想があったのであり、日本のリーダーシップが発揮できる分野であろう。
- ・子供を含む環境教育がどこまで浸透するかにかかっている。
- ・環境と共生できる新たな文明は、新たな科学技術によって支えられるものと考ええる。
- ・環境と完全に共生できる文明とは究極的には原始生活そのものである。科学・技術に依存する直前の時代は神権政治時代であった。
- ・原始時代の人間の姿に戻らなければならない。
- ・現代文明のみならず古代文明も欠陥を持っている。又、環境は人間に共生してもらう必要はない。
- ・「新たな文明の創造」はともすると反ヒューマニズム、反科学に走る恐れがあり、それを克服することは至難であろう。しかし人間にとって不可能とは思えない。
- ・A lot depends on political will.
- ・民主主義が政治のベースであれば無理。
- ・Good idea but impractical.
- ・人類が生き延びようとするれば現在の文明を否定しなければならない。それこそ不可能である。
- ・環境は文明の共通問題として共有できる問題だが、文明の一半は皮膚の色、言葉、習慣、宗教に依存し、統一は不可能である。人工的に国土を与えられたイスラエルの侵略的意識を何と見るか？
- ・文明のかたちを創造するのは、人でなく創造主の仕事である。人々は徐々にかたちを変えて行く賢明さを身につけるべきであろう。
- ・キリスト、マホメット、シャカ以上のカリスマ的リーダーの出現を望む。
- ・人類はどれだけ賢明なのだろうか。

問6 『地球環境を守るために、先進国の人々は、物質的な豊かさを抑えたライフスタイルに移行することができると思われますか』

●意見記述者：514人

- ・義務である。
- ・強制－誘導－自発の各段階を組み合わせることで、真の豊かさ、自立した暮らしを再考、可能とみる。
- ・科学・技術・人文社会・政策科学の統合的研究課題として取組むとともに、教育を通じて次世代に普及を図ること。
- ・Yes, if one starts with the young.
- ・一度覚えた快楽は忘れ難いが、人類の生存にはねかえってくることを認識することを期待したい。
- ・極めて悲観的だが、南北問題のギリギリの所で糸口が見つかるかも知れない。
- ・アメリカ、日本以外は可能かもしれない。
- ・困苦欠乏に耐えてきた私どもの年齢の者は出来るが、今の日本の若者・アメリカ人は多分駄目。
- ・Over time perhaps, but the "haves" want more.
- ・エネルギー源が枯渇し、食糧難などが訪れる2～300年後には可能と思われる。
- ・動物と同様、物を所有しない制度（レンタルシステム）が確立されれば可能。
- ・It will be difficult, but not impossible.
- ・現在は危機が増幅されている。科学的に危機への進行が確実なデータで予測されれば、必ず新しいライフスタイルになる。
- ・豊かさの概念を変えていく必要がある。（例：絶滅寸前の動物を食することを、我々は"豊か"であると思わないように）
- ・If they move away from materialistic modern life.
- ・If they can reduce their selfishness.
- ・どうして抑える必要があるのでしょうか？ また、本当に抑えられるもののでしょうか？
- ・物質的豊かさをマイナスと見るライフスタイルを強制すべきではないでしょう。
- ・豊かさを抑えるのではなく、良い環境を維持することに努める。
- ・ライフスタイルはなかなか変えることができない。
- ・経済格差が現在のまま推移するとすればほとんど不可能。
- ・知識と行動が別であるならば社会システムを変えない限り無理がある。
- ・先進国そのものが、途上国の人口圧によって、おびやかされる。
- ・No! No! The population explosion don't permit it!
- ・あるいはいろいろな文明病のために弱体化し、民族大移動などの波に吞まれて亡びるでしょう。
- ・Not without a very major crisis.
- ・宗教的な力が必要と思われるが、それはもっと追いつめられた時に出現するのか？
- ・欲望を押さえるのは何か、悟りか、諦めか。
- ・そうしなければならぬから、できる。（カントから借用）

問7 『先進国は、途上国の経済発展のあり方や人口の抑制に関与することはできるとおもわれますか』

●意見記述者：516人

- ・すべきでない!! 思いあがりである。
- ・No! The riches would explore every more the poors. Look to the history in the last 500 years.
- ・我々と同程度の便利で快適な生活にあこがれる途上国の人々に、それをしてはならないと言うことはできない。
- ・人口の抑制といってもエネルギーを使わない人を抑制することはおかしい。
- ・現行のODAは論外としてもGEFでも先進国主導型では危機を助長するだけである。
- ・They should concern themselves more with their own activities.
- ・問題はそのような意思が強くなることだ。
- ・むしろ積極的に関与すべきである。
- ・人口問題を禁句にしているのは本質に触れない。
- ・Demography is the main problem root of everything.
- ・少なくとも東南アジアについては日本は関与していくべき。
- ・途上国の経済発展は人口問題を抜きにしては考えることはできない。人口抑制については、中国、インドにおいては成功していない。
- ・資格はないが、能力は多少ある。むしろ、積極的関与（経済介入、教育・技術援助）をしなければ、解決はできないでしょう。
- ・地球共同体の一員として、相互に関与。
- ・自分達の行なったマイナスをもう一度しないように関与していくべきでしょう。
- ・徹底して住民、市民、そして弱者の側に立てば可能。
- ・Yes - but not in most of the present ways.
- ・一番根本的な問題だが、それぞれの国が自主的に判断していただく以外ない。
- ・途上国の貧困の問題に果して解があるかどうか。
- ・民族問題や宗教問題がからみやすく、国家間での関与は難しい。別の枠組みが必要。
- ・誇り高い途上国に関与しても、内政干渉と反発されるだけ。
- ・各国相互の内政不干渉が絶対的な要件となっている以上、それぞれの国のエゴイズムの抑制は困難である。
- ・そのためには科学・技術のみならず莫大な投資が必要である。したがって先進国のエゴイズムがこれを不可能にする。
- ・Yes, because whatever developing countries have will always affect the developed countries.
- ・人口問題は宗教と関係するので困難。
- ・人口を抑制する1つの方法は、経済的に豊かになり、女性の自立がすすむ。これができれば出生率は下がる。しかし問題はそこまでの人口増加に地球が耐えうるかどうか。
- ・仮にできる立場であっても、するべきではない。その結果、どちらかの側に不利益が生じて、**「人類の存続」**にとっては副次的なイベントである。

問 8 『上記の質問や回答では、地球環境問題や人類の存続についてあなたの気持ちのごく一部しか表わせないとお考えの場合は、以下に自由に記述して下さい』

●意見記述者：435人

1. 人口問題の解決を人類存続の重要課題とみなした人

- ・ There will be no solution until human numbers cease to increase.
- ・ すべてのことを総合すると、人類の半分が死んでからでなければ、転換点は来ないだろう。そのとき立ち止まらなければ滅亡あるのみだろう。
- ・ 人類の危機はCO₂の急増等によるものではなく、世界人口の爆発的増加による。非文明圏に原因があるところに解決の困難さがある。非文明圏の人々に政治的な安定、物質的な豊かさ、それに教育レベルの向上を実現することにより、この危機が乗り越えられると思う。
- ・ Most environmental problems go fundamentally to population excess.
- ・ 環境問題の根本である人口増加をいかにとめるかを討論すべきである。小手先の解決は問題を先送りしているだけではないだろうか。
- ・ 敗戦を終戦、占領軍を進駐軍と訳した如く、人口爆発・人類絶滅を地球環境と訳している。
- ・ 最大のテーマは人口問題と南北格差に伴う貧困の問題である。この問題に焦点をあてた国際連合の機関をつくる必要あり。
- ・ アフリカ、中南米、中国、南アジアの人口問題を解決しない限り、状況は悪化するのみでしょう。それぞれの国の政治・行政、および宗教問題が具体的な解決策を、実行に移せない理由となると考えます。
- ・ In my opinion the two most serious long-term problems for humankind are (1) unrestricted population growth (2) dwindling energy sources.
- ・ 人口の抑制ができれば環境問題の解決はまだ容易な方であろう。むしろ人口の抑制や医学の限界などから、適者生存の生物学的機能を失った人類が存続不能となるのではないか。
- ・ 環境容量は不変のものではないが、地球の適正人口というものは存在する筈であり、現在、これを求める努力が必要である。
- ・ 地球上にあまりにも多くの人間が住むことが問題の根源であり、この人口問題の解決は不可能である。
- ・ 人口問題は遅れると、その解決に要するエネルギーは指数関数的に増加するようになる。
- ・ 地球環境を守ることができるのであれば、それは人口の抑制以外にないだろう。その鍵は途上国にある。... 結局行き着く所まで行ったとき、地球的規模である「大英断」が求められるような気がする。
- ・ 幸福（人権）をかかげての栄光ある滅亡を選ぶか、これ<人口>を制限するコンセンサスを得て永住するかのギリギリの選択となろう。

2. 教育・環境教育の重要性をあげた人

- ・人間のモラルが第一。これは教育の見直しが必要。
- ・資源の真の価値を認識し、連帯感を持って人類の存続を意識できる人間を育てるための教育が必要である。
- ・地球環境問題の改善のためには、人の考え方、ライフスタイルの改革が重要である。そのためには、学校教育、社会教育などの広範な機会を利用した環境教育が重要である。
- ・今必要なのは開発途上国の若者が自立する能力を持つことで、教育が最も重要である。
- ・とくに＜開発途上国の＞女性の教育水準を高める。
- ・初等教育からの「教育」を充実させることが重要です。
- ・The role of education is of utmost importance in the primary and secondary schools.
- ・現在、やや問題をオーバーに、ヒステリックに、ジャーナリスティックにとらえすぎる感がある。小学校の教育から再構築する要あり。
- ・Private education is the long-term solution.
- ・現在の大人には失望している。理論は充分知りながら、安直さにかまけて実行する勇気をもたない。これからは幼児教育に徹する（彼らはよく教育すれば必ず実行できる大人に育つだろう）。

3. 東洋思想・文明（西洋近代主義への反省）の重要性をあげた人

- ・新しい哲学が必要であり、これは「共生」の考え方の伝統のある東洋の出番ではないかと思っております。
- ・There must be a New Faith practiced by the human race.
- ・西洋科学も近代主義に支えられた自然観にすぎないので、西洋科学が現代の地球環境問題を解決することは原理的にありえない。
- ・科学万能主義・経済成長至上主義に替わる新たな文化・価値観の確立が不可欠である。その意味で、東洋思想から学ぶべき点は少なくないと思う。
- ・We must adopt a new frame of thoughts about life and discard the old. The old one subscribes to the Newtonian mechanical civilization idea - happiness based on more more materials.
- ・日本人の自然に対する「目」や「こころ」を古典から学びとることの重要性を感じる。
- ・環境倫理に東洋思想を取り入れることが当面（100年～300年）人間の価値観を変えるのに有効であろう。
- ・恐らくここ10年ほどの間に西洋文明に対する揺り戻しが起こる。新たな価値として東洋文明をはじめとする sustainable な思想が再評価されるだろう。
- ・結局は世俗を超越する東洋哲学か？

4. 進化・遺伝子の必然として人類は滅亡すると答えた人

- ・生物種としての「人類」は（個体数の大幅な減少を伴うかもしれませんが）核戦争さえなければ数十万年のオーダーで存続は可能でしょう。
- ・環境は昔から、生物の進化とともにダイナミックに、また自然的な気候変化の下でダイナミックに変わってきました。... 遠い将来の絶滅は避けがたいとしても、自然とそれへの働きかけの仕組みをさらに知って少しでもこれを延ばすことしかないでしょう。
- ・環境破壊による人類滅亡は、あらゆる生物に共通する自然淘汰として受け入れなければならないのかもしれない。
- ・ヒトという種ももちろん寿命をもっているが、現在問題になっている程度の環境破壊で絶滅することはない。... ただ、環境破壊はそのプロセスを速めるだろう。
- ・人類は理想像を現実のものにする程純粋でも、賢明でもありません。生物の一種として滅亡する運命にあり、その運命を全人類が現実として気がついたときにはすでに遅いことになるでしょう。
- ・地球が過去に何度も経験した大異変で、人類の1%が生き残ればいいなと思っております。
- ・人類の滅亡はそんなに恐ろしいものではないと思います。
- ・生物進化の歴史上、栄えた動物は必ず滅びている。人間も例外ではない。... 滅んだ多くの動物は自分の最も大切な武器が環境変化に適応できなくなった。人類の武器は脳皮質（≒英知）であり、これこそ問題だと考えている。
- ・存続するかどうかに興味がないというのが、私の本音です。

5. 資本主義・市場経済システムへの疑問をあげた人

- ・資本主義の次世代の哲学の構築が必要だと考えます。
- ・地球環境問題は、「科学・技術」の課題である以上にすぐれて「政治、経済、社会構造」の課題であると考えます。現在の、私利私欲の追求を目的とした資本主義体制を、大筋として肯定するか、批判するかで対応は変わるでしょう。
- ・現在の経済性原理を許す資本主義は、これから共産主義より手におえなくなるだろう。
- ・現状では自由主義、資本主義は有害なのかもしれない。共産主義の破綻の次には自由・資本主義体制の崩壊が来るのかもしれない。
- ・我々は資本主義が生き残ったことに手放しでは喜べない。拡大膨張することが資本主義の根底的な作用であるとするれば、やがて我々は地球とともに亡ぶことになるだろう。この経済の仕組みを変える新しい概念が生まれることが人類の生存には不可欠のように思われる。

6. 平和の重要性（核・戦争への不安）をあげた人

- ・最大の環境破壊＝核戦争の脅威とも立ち向かうことが急務です。
- ・環境に絶大な影響を与える世界中のどこかでいつも起っている戦争をなくすかが重要な問題であり、武器の輸出や整備をしながらPKOとは大きな矛盾であろう。
- ・If it is not possible to stop civil wars in Yugoslavia and other regions, how can the industrial nations impress on the leaders of developing countries their ideas?
- ・核保有国の利己・独善は全く不合理である。
- ・現在世界各国の軍備費のすべてを人類の生存の為の strategy 作成に向ける時期に来ていよう。
- ・平和がなければ環境は守れない。平和はどうして守るか。軍備では不可能。反戦運動でもだめでしょう。平和の基礎的研究が大切と思います。

7. 環境ファシズム（警察国家・管理社会への移行）への懸念をあげた人

- ・環境保護は結構だが、今よりもっと規制の強い管理社会にならないことを望む。
- ・現在の人類の個体数は環境容量に対して過飽和になってしまっているので、いずれ相当な「揺れ戻し」があることは想定できます。願わくばそれが過酷な形ではなく、soft landing ができると、いいのですが。
- ・第二次大戦前後の物不足を経験した世代なら理解するだろうが、その後の生活を享受した世代は、将来国際的統制経済に移るとき、それに伴って相当数の落伍者ができることを受け入れるだろうか。
- ・過激思想や正体不明の宗教団体などが大きくなってゆくことが恐ろしい。
- ・救える方法の1つ：環境破壊による人口の激変、又は、環境ヒットラーのようなファッショな政治体制（人口抑制、物品の販売制限＝統制経済）ができるか。即ち、民主主義と資本主義に代わる危険な思想の誕生が、救うという皮肉な結果となる。

8. 地球システム科学の構築の重要性をあげた人

- ・もっと地球システムを科学的に究明するために日本は率先して全地球規模の研究拠点を展開し主導すべきです。
- ・現在、ジャーナリスティックに言われている地球環境問題がどの程度真実なのかについて科学・技術を駆使する必要がある。地球システム工学のような学問を早急に体系化することによって、ほんとうに「地球」は「限りある資源なのか」という疑問に答えることが大切である。

9. 地球温暖化という既成事実疑問を投げかけた人

- ・炭酸ガス増と気温増とは確かに相関がありますが、向こう50年間位の平均気温変化を見てみないと、果してこの気温経年変化が、地球環境の大スケール変化の中の一部かどうかまだ答えは出ていないと思います。

10. テンポを緩めることの重要性をあげた人

- ・特に現在の日本のテンポははやすぎ。
- ・現状が危機的であるのではなく、現状の悪化速度が問題だと思えます。

11. 宇宙への進出をあげた人

- ・むしろ抜本的に資源、エネルギー、場所を増す技術開発としての技術・科学を推進すべきである。宇宙へ進出し、宇宙農場、宇宙工場、宇宙発電所、宇宙都市などのプロジェクトに向けた救済科学・技術の開発に人的・予算的投資をすべきと考える。

12. 人文科学の重要性をあげた人

- ・科学・技術の進歩にくらべて、哲学・経済・法律などの人文科学の立ちおくれは人類の存続に重大な危惧をいだかせる。科学・技術の振興と同時に人文科学の新しい展開を振興すべきである。